

県オリジナルリンドウをPR

山口県花卉園芸農協ストック・ユーストマ部会総会で、県オリジナルリンドウをPR

分類：新着ニュース, 農業

登録日：平成 28 年 5 月 17 日 | 下関農林事務所農業部

県オリジナルリンドウの品種の1つである「西京の初夏」は、全国で最も早い5月下旬から出荷でき有利販売が期待できることや、露地栽培が可能であることから、県下全域で作付拡大を図っているところで

す。
下関市は、古くからストックおよびユーストマ(トルコギキョウ)の生産が盛んに行われており、その生産を支えている「山口県花卉園芸農協ストック・ユーストマ部会」では、毎年総会において新規作付の品種や品目の検討を行っています。

そこで、下関農林事務所農業部では、平成 28 年5月 13 日(金)に、下関市吉見で開催された今年度の同部会総会において、トルコギキョウと同じ科に属する県オリジナルリンドウを新たな品目として紹介しました。

総会では、花卉農協組合長、部会員の他、下関合同花市場など関係機関 20 名が出席し、参加した生産者からは、品種の特性や種苗費等について質問があるなど、活発な議論が交わされました。

下関農林事務所農業部では、管内の各花の部会等に対し、リンドウの作付推進を行うとともに、種苗の注文の取りまとめ等、部会の取組について支援を行っていくこととしています。

(下関農林事務所農業部 光永拓司)



総会で部会員が検討している様子

問合せ先

メール：a171071@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：0837-66-1206